

科目分類	看護専門科目（地域・在宅看護学）	開講時期	1・2年	後期		
研究キーワード	地域住民・在宅療養看護・慢性疾患・認知症・生活支援					
科目名	地域・在宅看護学演習					
英文	Seminar of Community Health and Home Care Nursing					
選択／必修	選択	単位数（時間数）	2単位	30時間	授業形態	演習
担当教員	北村 隆子・高鳥 眞理子・畑野 相子・長井 麻希江 喜多 義邦・木谷 尚美・伊部 亜希・横山 浩誉					
メールアドレス	t-kitamura@tsuruga-nu.ac.jp（北村） takatori@tsuruga-nu.ac.jp（高鳥） a-hatano@tsuruga-nu.ac.jp（畑野） m-nagai@tsuruga-nu.ac.jp（長井） y-kita@tsuruga-nu.ac.jp（喜多） n-kidani@tsuruga-nu.ac.jp（木谷） a-ibe@tsuruga-nu.ac.jp（伊部） h-yokoyama@tsuruga-nu.ac.jp（横山）	オフィスアワー	事前にメールで連絡してください。			

授業目的	1. 研究課題を設定し、文献のクリティーク方法、研究手法、データの分析方法など研究の基盤となる知識、思考プロセスなどを修得し、今後の看護実践の発展に寄与できる能力を身につける。
授業概要	概要：地域で生活する人々、在宅療養者およびその家族の健康生活に対する実態や援助方法、また慢性疾患や認知機能の低下を有する人々の QOL を高めるための支援内容等について、演習で研究課題を設定し、研究計画を立案する。 授業形式：地域包括ケア病棟、訪問看護ステーション等の現場での実践を基に得られた研究課題を題材に、演習を通して研究計画案をプレゼンテーションし、分野の学生および教員全員の参加のもとに、ゼミナール形式で進める。

<p>授業計画</p>	<p>第1～4回 地域包括ケア病棟、訪問看護ステーション等において看護を実践する。 それを基に研究課題の抽出を行う。 *第5回目以降は現場で抽出した看護課題に基づき、研究計画立案までをプレゼンテーションし、分野の教員、学生全員によりディスカッションを行う。 第5～8回 課題に対する文献レビュー 第9～12回 レビューした文献のクリティーク 第13～15回 研究計画書（倫理審査申請書）の立案</p>
<p>教材 参考文献等</p>	<p>授業の中で適宜紹介する。</p>
<p>成績評価 基準・方法</p>	<p>授業中課題（提出物など）40%、授業中のプレゼンテーション60%</p>
<p>履修要件</p>	<p>地域・在宅看護学分野の特論を履修していること</p>
<p>関連科目</p>	<p>地域看護学特論、在宅看護学特論、老年看護学特論、慢性病看護学特論、 精神保健看護学特論</p>
<p>留意事項 その他</p>	<p>なし</p>